

まっこと 樹木が身近に

同敷地内の樹木に名前を

この度、局敷地内に植栽している樹木に技術普及課職員が、樹種名・科名・特徴等を記した木製で三一種類の樹名板を取り付けました。(写真)

設置した樹名板を見た職員はもとより、入局している高知県職員や外来者からも、「樹木の名前を覚えられるので良いですね」、「昼休みの散歩が楽しみ」、「子どもにも教えたい」など、また、職員から、当誌二月号「樹木名の覚え方」にも役立ち、樹木が身近に感じるなどの声が寄せられています。(写真上段右 コウヨウザン(ヒノキ科) 左

コヨウマツ(マツ科) 下段右 アコウ(クワ科) 左 ヤブツバキ(ツバキ科)



誌上 森林環境教育

石けんのように泡立つ木の実は、どのような樹木ですか。

水に溶かすと石けんのように泡立つ木の實について。むかし、洗濯は、井戸のまわりやきれいな水が流れてくる場所などでされていましたが、その付近にはサイカチ(写真)が植えられていることがあります。



サイカチは、マメ科の樹木で秋になるとマメが入っているサヤができます。このサイカチのサヤの内側がヌルヌルしていて、水に溶かすと泡立ちます。

同様に泡立つ木の實としてはムクロジの實、エゴノキの實、トチノキの實等も砕いて水を入れたペットボトルに入れて、強く振ると泡立ちます。この泡立った水で汚れた布がきれいになるか試してみてください。

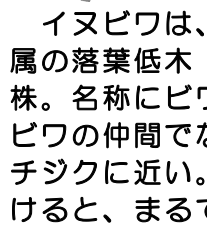
(子ども樹木博士ニュース 75号)

編集後記

7月、梅雨明け間近。新型コロナウイルスの対策(マスク・手洗い等)をしっかりと継続してこの季節とも上手くつきあい体調管理を。

知っ得 豆知識

「イヌビワ」って (クワ科)



イヌビワは、クワ科イチジク属の落葉低木(写真)で雌雄異株。名称にビワがついているがビワの仲間ではなく、クワ科のイチジクに近い。葉や枝に傷をつけると、まるで乳のような白色の樹液が出てくることから乳の木の異名も。春になって若枝が伸びると、雌木や雄木の枝にイチジクを小さくしたような丸い実(花のう 直径が1~2cm)をつける。その内側にはたくさんのお花が。花は外側からは見えない。

雌木の閉ざされた「花のう」の中で、雄木の花粉を確実に受け取るために、ハチの1種であるイヌビワコバチとの間に極めて巧妙な共生システムを。これは植物と昆虫の共進化を示しており、とても不思議な現象。

10~11月頃に、雌木の丸い実(花のう)は黒紫色に変化し、食べると柔らかく、とても甘い。雄木の実は赤紫色で堅くて食べられない。

雌木の実はヒヨドリなどの野鳥によく食べられ種子が糞とともに散布され、生育地を広げる。

これも植物と野鳥のすばらしい共生システム。

森の花を楽しむ101のヒント

(日本森林技術協会)